

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	15-108	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol exposure, injury, and death in trauma patients. 外傷患者におけるアルコール曝露、傷害と死亡		
執筆者		
Afshar M, Netzer G, Murthi S, Smith GS.		
掲載誌		
J Trauma Acute Care Surg. 2015 Oct;79(4):643-8. doi: 10.1097/TA.0000000000000825.		
キーワード		PMID
院内死亡、外傷重症度指標、エタノール、飲酒		26402540
要 旨		
<p>目的：外傷患者の院内死亡と血中アルコール濃度（BAC）との関連については明らかでない。本研究は、BAC と外傷患者の院内死亡の関連について、傷害の重症度および機序を含め検討する。</p> <p>方法：2002年1月1日から2011年10月31日にかけてメリーランド医科大学の外傷センターに紹介された46,222名の外傷患者を対象とした後ろ向き観察コホート研究を行った。BACを順序変数として0mg/dL（検出レベル未満）、1-100mg/dL（中程度）、101-230mg/dL（高度）、>230mg/dL（非常に高度）に分類し、BACと死亡の両方に相互作用すると考えられた共変量を含んだ多変量ロジスティック回帰モデルにより推定した。</p> <p>結果：血中アルコール（BAC）は、44,502人の患者（96.3%）で記録されていた。BAC 1-100mg/dL（中程度）において院内死亡と穿通性外傷（オッズ比 2.22, 95%CI 2.04-2.42）および重症外傷（オッズ比 1.25, 95%CI 1.16-1.35）の両方に関連が認められた。BACが高いものは検出レベル未満と比較してオッズ比が低かった（オッズ比 0.75, 95%CI 0.67-0.85）。逆 U 字型の関連付けは、アルコール基により重傷外傷と穿通性外傷に示された。中程度の BAC は院内死亡のオッズ比を高めた（オッズ比 1.50, 95%CI 1.25-1.79）が、非常に高度な BAC は院内死亡のオッズ比を低下させた（オッズ比 0.69, 95%CI 0.54-0.87）。BAC 中程度を頂点とする“逆 U 字曲線”を示した。このモデル判別の受信者動作特性曲線下面積（AUC）は、0.64（95%CI 0.63-0.65）であった。</p> <p>結論：傷害の重症度と機序はアルコール及び死亡の強い媒介変数であった。重症外傷のオッズ比は、中程度の BAC が最も高く、「非常に高度」な BAC で最も低かった。院内死亡と BAC との関連も同様であった。院内死亡と BAC との関連を明確に理解するためには、血中アルコールグループごとの傷害の違いを考慮しなければならない。</p>		